

きょうと地域連携交付金 自己評価調書（令和6年度分）

団体名： 福知山市

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
					(実績額)	交付金 充当額		
1	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	アクティブシティ推進事業	<p>【事業の目的】 市民の身体活動（運動やスポーツなど）を盛んにすることで、アクティブ（活動的・能動的）でウェルビーイング（心的・身体的・精神的な充足感が満ちている）な地域を形成し、誰もが心身ともに健やかで豊かな生活を送ることができるまち「アクティブシティ」の実現に向け、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、市民団体、民間企業などと協働して事業展開する。</p> <p>【事業の内容】 ・健康増進のきっかけ作りとしてアプリ「福知山KENPOS」の活用推進。 ・アクティブシティアドバイザーの企画事業の実施 ・福知山市アクティブシティ推進事業補助金の活用推進 ・アクティブライフ体験会の実施</p>	6,236	3,118	<ul style="list-style-type: none"> 福知山KENPOSアプリ登録者数 7,165人 官民協働によるアクティブシティ推進事業参加者数（延） 1,907人 	<p>福知山KENPOSの登録者数は7100人を超え、平均歩数も年々増加傾向にあり、アプリ活用の成果がでている。健康について普段あまり意識していない方達が健康づくりに取り組めるような働きかけを行うために試行的に実施したアクティブライフ体験会では、楽しさを前面に押し出すことで参加につなげることができ、好評な結果となった。</p>
2	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	稼げる農業ステップアップ事業	<p>【事業の目的】 ・農業者が行う販路開拓や農産物の高付加価値化事業に対して支援するほか、農業経営に関する知識をつけていただくことを目的に、専門的な知見を有する講師による講座を実施する。</p> <p>【事業の内容】 ・慣行栽培よりも農薬や化学肥料の使用を抑えた「特別栽培米」や有機JAS認証米を生産する農業者に対して、その取組面積に応じて「環境にやさしい米づくり支援事業補助金」を交付 ・新製品の開発や新しい販売方法の確立などの販路拡大に取り組む農業者等に対して、その活動を支援するために「農業者販路開拓事業補助金」を交付 ・専門的な知見を有する講師を招へいし、これからの農業経営に役立つ所得の向上に資する「稼げる農業者育成講座」を開催</p>	2,810	1,405	<ul style="list-style-type: none"> 環境にやさしい米づくり支援事業 総取組面積：7,462a 取組者数：36者 農業者販路開拓事業 交付件数：3件 稼げる農業者育成講座 回数：3回 参加人数（延べ）：41人 	<ul style="list-style-type: none"> 慣行栽培よりも収穫が低減する上に手間がかかる「環境にやさしい米」づくりに対して補助金を交付することで、高付加価値でもある「環境にやさしい米」の生産を推進した。 「稼ぐ意欲のある」農業者が行う新商品の開発や新たな販売チャネルの確立を支援することで、農業者等の所得向上に寄与した。 専門的な知見を有した講師の講座を無料で受講できる機会を創出することで農業者の稼ぐ意欲の醸成に寄与した。
3	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	福知山鉄道館運営事業	<p>【事業の目的】 「鉄道のまち」の歴史とアイデンティティを体現し、すべての世代が楽しめる施設として開館した「福知山鉄道館フクレル」の運営・イベント実施を行い、「鉄道のまち」の歴史継承や観光誘客の促進を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・福知山鉄道館の運営 ・福知山鉄道館PRイベントの実施</p>	22,055	11,027	<ul style="list-style-type: none"> 福知山鉄道館入館者数 36,907人 企画展示回数 8回 	<p>開館以降、初めての年度単位での年間運営であったが開館すべき日数全てで大きなトラブルもなく運営することができた。さらに、その間には随時展示品の追加や入替などの工夫・充実、公募型も含めた企画展示の複数回実施、集客につながるイベントの開催、土産物取扱い品の拡大・充実、SNSでの発信、周辺施設・大学・鉄道会社・青年会議所等との連携など、様々な取り組みを実施することができた。</p>

4	地域づくり連携推進事業	子育て支援	響プランFまなびの充実事業	<p>【事業の目的】 響プランF（福知山市立学校教育内容充実プラン）に基づく確かな学力を定着させる取組などにより、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が、学力を向上させ、自らの可能性をしっかりと伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生きていく力を育てる教育を推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・学校における基礎学力定着のための取組 ・課題のある児童生徒に対する校内補充学習や家庭訪問等による子育て相談、家庭学習習慣の定着を図る取組 ・小学校補習学習の学習サポーターとして福知山公立大学生を配置</p>	2,680	1,340	<ul style="list-style-type: none"> ・小6全国学力状況調査（算数）における低学力層の割合の減+6.7% ・中3全国学力状況調査（数学）における低学力層の割合の減+4.8% 	「響」プラン・Fに基づく、児童生徒の学力の向上・充実を目指すために計画していた取組については、予定どおり実施し、基礎学力の定着や子どもの可能性を伸ばすための教育機会を提供できた。
5	地域づくり連携推進事業	子育て支援	響プランF心の充実事業	<p>【事業の目的】 令和2年度に策定した「福知山市立学校教育内容充実推進プラン」（「響」プラン・F）に基づき、芸術や文化、SDGs、職業等のさまざまな体験機会を充実させ、子どもたちの豊かな心とあらゆる可能性を伸ばすことを目的とした取組を進める。</p> <p>【事業の内容】 ・「本物」の芸術・文化体験（博物館等や京文化の体験、劇団四季舞台鑑賞など） ・SDGs体験学習の実施 ・各校で計画実施する歴史・文化学習や職業体験活動等にかかる経費を支援。</p>	19,731	9,865	<ul style="list-style-type: none"> ・心の充実体験活動の実施回数（小学校）27回 ・心の充実体験活動の実施回数（中学校）17回 	全事業において学校（児童生徒）からの満足度は高く事業として一定以上の効果があり、豊かな心や感性を育む機会となった。 小学4年生対象（博物館見学・体験活動）満足度98% 中学1年生対象（劇団四季の観劇）満足度99%
6	地域づくり連携推進事業	万博	福知山踊り振興事業	<p>【事業の目的】 福知山の夏の風物詩である「福知山ドッコイセまつり」において、万博の機運醸成に向けたPRブースを設置し、本市が共創パートナーや共創チャレンジに登録していることなどをPRする。</p> <p>【事業の内容】 福知山お城まつり事業補助金の交付</p>	1,200	600	福知山踊り講師派遣受講者数 1,411人	福知山ドッコイセまつりは本市の伝統文化を保存、継承する役割を果たしており、多数の参加者が訪れる中で万博開催に向けたPRを行うことができた。
7	地域づくり連携推進事業	万博	福知山お城まつり支援事業	<p>【事業の目的】 交流人口の増加によるまちなかの賑わいの創出と、明智光秀ゆかりの「福知山城」をPRするために開催する「福知山お城まつり」において、万博の機運醸成に向けたPRブースを設置し、本市が共創パートナーや共創チャレンジに登録していることなどをPRする。</p> <p>【事業の内容】 福知山お城まつり事業補助金の交付</p>	3,000	1,500	福知山お城まつり来場者数 21,000人	福知山城天守閣の再建を機に始まったもので、本市の春を代表するイベントとして観光誘客や賑わい創出に寄与しており、本市で開催されているイベントの中でも特に集客力のあるイベントでR6年度も21,000人の来場者数となった。このイベントの中で、万博PRブースを設置し本市が共創パートナーや共創チャレンジに登録していることをPRすることができた。
8	地域づくり連携推進事業	万博	福知山産業フェア事業	<p>【事業の目的】 商業、工業、農業の各機関団体が一体となった物産展を開催し、情報交換、異業種交流の場を設けることで、出展企業・団体の取引機会の拡大促進及び産業の育成と活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・出展者（企業、団体）による製品、技術、サービスのPR及び商品販売 ・完成品グルメ、地場産品、観光土産品等の販売 ・市内飲食店、各種団体を中心に多彩な「食」を提供 ・市内高校による音楽演奏や子どもから大人まで楽しめるステージパフォーマンスショーの実施</p>	3,800	1,900	福知山産業フェア来場者数 25,000人	令和6年度における取引機会の拡大に繋がった事業者は出展者94事業所のうち60事業所であり、約2/3の出展者が出店した成果を実感することができた。 25,000人が来場した福知山産業フェアの中で、万博PRブースを設置し機運醸成を効率的に行うことができた。

9	地域づくり連携推進事業	万博	大阪・関西万博機運醸成事業	<p>【事業の目的】 本市の大江地域にしかない鬼伝説の魅力を国内外に向けて発信することで認知度・知名度の向上を図り、継続的な誘客により観光客数の増加をめざす。「森の京都」エリア内にある福知山市の独自の鬼文化や祭り文化を通して、国内外の人の京都北部への興味関心の惹起と、地域の若者のシビックプライド醸成・文化継承。令和6年度は令和7年度の万博に向けた準備及び機運醸成を行う。 大阪・関西万博を通じて、本市の行っている献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言の取り組みを発信する。</p> <p>【事業の内容】 ・市民を対象とした鬼のお面づくりワークショップを開催し、お面とともに万博に出演する機会の創出 ・大阪・関西万博（多目的エリア）での「大江山酒呑百鬼夜行」の開催 ・大阪・関西万博（京都ゾーン）での「大江山鬼伝説」の展示 ・万博出展に関連した展示企画展を日本の鬼の交流博物館で開催 ・既存の市内外イベントと鬼伝説のコラボ企画を地元団体と連携して実施 ・万博 京都ブース用「額田のダシ祭り」出展準備経費 ・万博を契機とした誘客に向けた観光プロモーション経費 ・万博 地方創生SDGsフェス自治体ブース（献血・骨髄バンク展示）出店準備経費</p>	3,993	1,996	<ul style="list-style-type: none"> 「お面づくりワークショップ」（3月と4月に開催）参加者数 定員25人に対し65人 観光消費額 18億円 観光入込客 102万人 献血者数 R6 4,392/4,300人（目標数） 骨髄バンク新規登録者数 R6 124人/120人（目標数） 	令和7年度の万博出展、その後の関連イベントを主とした事業であり、令和6年度は準備中心であった中でも市民を対象とした「お面づくりワークショップ」（3月と4月に開催）では、定員25人に対し65人の応募があり、市内での周知を図ることができた。 大阪・関西万博出展（R7年度）のための啓発物を作成することで、全国初である「献血と骨髄バンクの支援を広げる都市宣言」をPRするための準備ができた。大阪・関西万博において、本市をPRすることは観光誘客において有効な手段であり、福知山市の知名度向上、今後につながる機会を準備することができた。
10	地域づくり連携推進事業	交流と連携	移住・定住促進事業	<p>【事業の目的】 住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを推進し、移住者・移住希望者支援及び受入地域側の意識醸成並びに空き家等の利活用による地域の維持・活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・受入地域の意識醸成のための支援 ・農山村地域の活性化及び集落維持を目的とした空き家の利活用促進支援 ・移住希望者及び移住者に関する支援・情報発信等</p>	5,054	2,517	<ul style="list-style-type: none"> 空き家情報バンク制度を通じての移住者数 29人 新規移住希望者名簿登録数 152人 	本市の移住促進ウェブサイトやSNSなどによる情報発信、各種支援制度の構築などを行うことができた。 移住促進特別区域を中心に、地域づくり組織等において、移住者交流会の開催や空き家物件の登録促進が行われており、移住者の受入れに対する地域の意識は年々上がっている。今後も地域づくり組織や自治会など受入地域と連携し事業を進めていく。
11	地域づくり連携推進事業	文化の力	市民文化活動推進事業他文化振興関連事業	<p>【事業の目的】 多くの市民が文化芸術活動・創作活動に自主的・主体的に参画でき、また発表・鑑賞できる豊かな感性を持った地域社会を構築することを目的とする。</p> <p>【事業の内容】 ・公益社団法人福知山市文化協会への事業支援補助 ・公益社団法人福知山市文化協会との共催事業 ・ジュニア世代の全国大会等への派遣費補助 ・文化団体への後援等（賞状筆耕など）</p>	5,276	2,628	文化協会との共催事業数 5件	福知山市文化協会の事業支援を行うことにより、市民の多様なニーズに対応した文化事業を、文化協会加盟団体をはじめ市民の自主的・主体的な参画により実施できた。
12	地域づくり連携推進事業	京都産業	夜久野高原・道の駅支援事業	<p>【事業の目的】 京都府唯一の火山である宝山によって形成された溶岩台地で、風光明媚で史跡にも恵まれている夜久野高原を、道の駅「農匠の郷やくの」を含めて地域内外へ発信することにより、観光地としての集客を図るとともに住民交流を促進する。</p> <p>【事業の内容】 ・やくの高原まつりへの補助金交付 ・夜久野農林商工祭への補助金交付</p>	634	314	<ul style="list-style-type: none"> やくの高原まつり来場者数 8,000人 夜久野農林商工祭来場者数 2,000人 	それぞれのイベントが従来の規模での開催となり、一定の集客効果を得ることができた。 一時的なものであるが、イベント開催を通じて夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており一定の成果を上げている。

13	地域づくり連携推進事業	環境先進地	資源ごみ集団回収報奨事業	<p>【事業の目的】 ごみの減量・資源化を図るとともに、ごみ問題に対する意識の向上を図ることで、循環型社会の形成を推進する。</p> <p>【事業の内容】 営利を目的としない団体による資源ごみの集団回収に対し、資源ごみ1kgあたり3円の報奨金を支給することで市民の自主的な活動を後押しし、ごみの減量・資源化を進める。</p>	2,850	1,419	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみ集団回収量 967t 資源ごみ集団回収登録団体数 74組織 	広報や自治会回覧により、継続した活動や新たな登録を呼びかけ、967tの資源ごみの集団回収を行うことができた。
14	地域づくり連携推進事業	環境先進地	不法投棄防止パトロール事業	<p>【事業の目的】 本市域における不法投棄が後を絶たず、地域環境の悪化が懸念されることから、不法投棄が多い重点監視地域を中心に巡回パトロールを実施し、早期発見・早期対応（回収）を行い、不法投棄防止を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。 ・回収した不法投棄物の内容を調査し、不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察と連携して注意、指導を行う。</p>	4,130	2,057	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄ごみ回収量 3t 不法投棄パトロール回数 214回 	巡回パトロールを実施し、不法投棄ごみの回収をすることで、地域環境の保持ができた。
15	地域づくり連携推進事業	環境先進地	3R（スリーアール）推進事業	<p>【事業の目的】 循環型社会の形成を推進するため、市民参画のもとで3R（リユース、リデュース、リサイクル）を実践するための事業に取り組む。</p> <p>【事業の内容】 ・環境パークに持ち込まれた再生利用可能な廃棄物を、修理再生し、リサイクルプラザで展示販売する。 ・リサイクルプラザ2階の体験コーナーで、3Rの重要性について学習後、実際にガラス細工やブリフォームなどを体験してもらい、家庭や地域などで学んだ技術を活用してもらう。</p>	2,650	1,319	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習（環境パーク施設見学）参加者 657人 リサイクル体験教室参加者 365人 	リサイクル体験教室を実施し、3R（スリーアール）に対する理解度を深め、循環型社会形成の意識向上につなげることができた。
16	地域づくり連携推進事業	環境先進地	環境公害調査事業	<p>【事業の目的】 公害のない良好な生活環境を確保するため、大気汚染や水質汚濁などに係る環境測定を実施し、必要な監視と指導を行う。 環境パーク周辺地域の環境測定により、公害防止協定の協定値を遵守した運営の確認を行う。</p> <p>【事業の内容】 ・長田野工業団地周辺大気調査測定 ・自動車騒音常時監視面的評価 ・中小河川水質検査 ・三和町河川水質測定分析 ・環境パーク周辺地域環境調査</p>	5,557	2,768	<ul style="list-style-type: none"> 環境パーク周辺地域との公害防止協定における協定値の遵守 89項目 	環境測定の実施により、法令の基準や公害防止協定の協定値の遵守状況について把握することができた。
17	地域づくり連携推進事業	環境先進地	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業	<p>【事業の目的】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみの収集・適正処分を行うとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。</p> <p>【事業の内容】 ・一般廃棄物処理基本計画の中間評価・見直し ・プラスチック使用製品ごみの再商品化に向けた組成調査 ・ごみ処理体制等の検討に係る廃棄物処理コストの調査</p>	15,136	7,543	<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会開催回数 3回 廃棄物搬入量 23,547t 目標（29,220t）以上の減量を達成 	市民・事業者の協力により一般廃棄物処理基本計画に規定された施策を着実に推進し、ごみの減量・資源化目標は概ね達成することができた。

18	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	自主防災組織サポート事業	<p>【事業の目的】 地域の助け合いの活動を組織的に行う自主防災組織の新規設置、運営、連携に対して補助制度に基づく支援を行うことで、自主防災組織の設置促進と活動の継続性を確保し、地域防災力の機能強化を図る。またリーダー育成を行うことで、全市域での自主防災組織の設置促進と育成、活動の強化と継続性を確保し、地域防災力の向上を図り、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・自主防災リーダー養成講座の実施。 ・自主防災組織の育成に係る補助金交付を実施。 ・自主防災組織の設置及び運営について補助制度に基づく次の支援を行う。 (1) 設置補助 (2) 運営補助 (3) 連携補助</p>	1,591	791	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織の組織数 325組織 (100%) 自主防災リーダー養成講座の受講者数 98人 自主防災組織運営補助数 69件 自主防災組織設置補助数 3件 	自主防災組織の結成率が目標値の100%の325組織を達成することができた。自主防災リーダー養成講座も例年並みの人数を集め実施することができたが、さらに多くの方に受講してもらったため今後は年齢性別を問わない受講者の募集方法と広報要領を検討し、自治会長を介して積極的に自主防災リーダー養成講座の受講を働きかける。補助事業の実施により、自主防災組織の新規設置の促進と育成、活動の強化と継続性を確保し、地域防災力の向上を図り「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進することができた。運営補助を活用いただいた自主防災組織では、地域に必要な災害対応用の資機材や避難のために必要な物品の整備を計画的に進めていただいております。地域住民の自助・共助の意識の醸成と防災意識の高揚に繋がっているものと評価できる。
19	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	新生児聴覚スクリーニング検査費助成事業	<p>【事業の目的】 こどもの健やかな成長と、保護者が安心して育児ができるよう、検査費用の一部を公費助成することで経済的負担を軽減し、先天性疾患の中で最も高頻度な疾患の一つである先天性難聴を出生後早期に発見する。</p> <p>【事業の内容】 ・新生児聴覚スクリーニング検査費用を一部助成 ・妊産婦健康診査受診券の中に新生児聴覚スクリーニング検査受診券を綴り、母子健康手帳と共に発行 ・京都府医師会と委託契約を締結し実施</p>	1,804	897	<ul style="list-style-type: none"> 新生児聴覚検査受検率 95.8% 新生児聴覚検査受診券発行数 477枚 	委託医療機関からの請求の際に検査結果を把握することができた。昨年度と比較して1.2%の受検率の上昇を達成することができた。
20	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	避難行動要支援者サポート事業	<p>【事業の目的】 地域住民の支え合い・助け合いによる自助・共助を基本とする要配慮者の災害時避難支援をはじめ、日頃からの地域での見守り等を通じて、安心・安全に暮らせる地域づくりを推進する。全国的に災害が頻発する中、福知山市は直近10年で5回もの水害に見舞われており、事前の避難体制の構築が求められるため、災害リスクや心身の機能レベル等を考慮し、優先度の高い要配慮者の災害時ケアプラン作成に取り組む。</p> <p>【事業の内容】 ・避難支援者、避難場所、移送手段の確保 ・福祉避難所の環境整備 ・災害時ケアプラン作成・更新、災害時の運用 ・災害時ケアプラン作成支援システム構築 ・災害時ケアプラン支援者向け研修会の開催 ・災害時ケアプランネットワーク会議の開催</p>	9,927	4,946	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者の情報提供同意確認回数 2回 災害時ケアプラン（個別避難計画のうち公助で作成するプラン）作成人数延べ 138人 	避難行動要支援者のうち、情報提供に同意した人の名簿を自治会長等へ提供することができ、情報を共有することができるようになった。避難行動要支援者のうち、家族の避難支援が得られない人や家族や地域の支援では避難が困難な人に対し、災害リスク、世帯状況、心身の機能レベル等を考慮し、市とケアマネジャー等福祉専門職が主体となり、本人やその家族、地域住民も交えて避難のタイミングや移送手段、避難場所など、一連の活動を想定した具体的な避難計画を作成することができた。また、計画に基づく訓練を実施することによって、計画の実効性を高めることができた。

21	地域づくり連携推進事業	京都産業	中心市街地空き家・空き店舗等対策支援事業	<p>【事業の目的】 空き家、空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、不動産の流通を促進し、まちなかでの居住・開業の推進による居住人口の増加と商業活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・福知山市及び地域振興社のホームページにて、中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を掲載し、情報発信を行う。 ・地域振興社に委託し、物件所有者や利用希望者の申請補助、物件の掘り起こし、物件内覧、相談窓口及び手続業務等を行う。 ・ストックバンク登録物件を利用し、新規開業をする際に、店舗改修等に対して補助金を交付する。</p>	8,898	4,434	<ul style="list-style-type: none"> ・新店舗開業数 4件 ・新規登録物件数 5件 	一般社団法人地域振興社によって、自治会を通じた空き物件調査や積極的な情報発信を行い、中心市街地における空き家・空き店舗等の不動産所有者に対してストックバンク制度の周知に努めた。また、新規開業を検討する人に対して、空き店舗等対策事業補助金等支援制度の活用も促すことで、新規利用希望登録と新規開業にも繋げることができた。
22	地域づくり連携推進事業	京都産業	まちづくり会社活動支援事業	<p>【事業の目的】 福知山まちづくり株式会社が、中心市街地活性化基本計画に係る各事業を着実に推進すること目的に、その実施事業に対して支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 ・福知山まちづくり(株)が実施する中心市街地活性化にかかる事業に対する補助金の交付。</p>	1,872	824	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆらのガーデン・広小路テナントミックス店舗数 12軒 ・出店者協議会回数 6回 	市にはない独自のまちづくりの経験や知識を有しており、また商業関係者等のネットワークも構築している。観光施設との連携による集客力向上の取組や商店街や商工会議所等と連携してゆらのガーデンや商店街の支援、イベントの実施等を行い産業の活性化につなげることができた。
23	地域づくり連携推進事業	京都産業	福知山市産業支援事業	<p>【事業の目的】 福知山産業支援センターを運営し、経営上の課題を抱える中小企業・小規模事業者・農業従事者等や起業を志す人の課題解決に向けた支援を行うことで地域経済の活性化を図る。また、事業者の販路開拓を支援し産業の振興を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・センター長による相談業務により、事業者自身が気づいていない「強み」を見つけ出し、その強みを活かせるアイデアを提案する。 ・市内の小規模企業者が、市内において製造、加工、開発された製品及びサービス等を不特定多数の者に周知することを目的とした展示会等への出展及びECサイトの構築にかかる経費の一部を補助金として交付する。</p>	27,321	9,892	<ul style="list-style-type: none"> ・相談後販路拡大や売上up等につながった件数 188件 	アイデア出しによる成功事例や事業者同士のマッチング事例も着実に増やすことができた。また、利用者への聞き取り調査においても高い満足度やセンターの必要性に関するコメントをいただくことでき、リピーターも増加傾向にある。
24	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト	<p>【事業の目的】 GIGAスクール構想で配備された児童生徒1人1台のタブレット端末を活用し、デジタルドリルの学習履歴分析や心の健康状態を可視化することで、学力向上と児童生徒理解の深化に向けた「福知山ならでは」のICTを活用した教育の充実を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・児童生徒の学習教材（デジタルドリル）のライセンス購入（全児童生徒） ・令和6年度から、福知山公立大学と共同開発したデジタルドリルの学習履歴を可視化・分析するツールと児童生徒の日々の心の状況を把握するツール（すくすく）の本格運用開始に伴う、研究業務及びメンテナンス。 ・各校から集積された市全体のデータを福知山公立大学と共に分析し、その結果を学校へフィードバックする。</p>	10,962	5,463	<ul style="list-style-type: none"> ・学習ソフトウェア（デジタルドリル）の使用率 76% 	タブレットに導入した学習ソフト（デジタルドリル）の活用により作成された学習履歴を分析するツールを福知山公立大学と開発した。加えて、児童生徒の心の状況を可視化するツール（すくすく）を開発し令和6年度に各校で本格運用を実施することができた。すくすくは、学校現場での使用率も高く有効活用されており効果を発揮している。

25	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	はばたけ世界へ 中学生 短期留学事業	<p>【事業の目的】 次代を担う中学生に、グローバルな国際社会で未来を切り拓くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たなステップに挑戦する契機とする。</p> <p>【事業の内容】 ・中学2年生15人を対象として、カナダへ10日間の海外短期留学を実施する。 ・事前の多文化交流学習及び現地視察企画等を業務委託契約により行うとともに、本市福知山公立大学と連携し、専門講師派遣による英会話学習を行う。</p>	15,433	7,690	<ul style="list-style-type: none"> 海外留学生徒数 15人 海外留学生徒募集説明会 1回 	海外留学を通して日本ではできない多くのことを体験し、短期間ではあるが、生徒自身の自立や成長に繋がる機会とすることができた。帰国後は、「長期海外留学を目標にしたい」「成長したコミュニケーション力を発揮していきたい」「将来の職業に役立てたい」など短期留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。令和6年度に引き続き、応募者全員研修会（2月）を開催し、異文化やコミュニケーションについて学ぶ機会を提供し、留学への関心をさらに高める機会を持つことができた。
26	地域づくり連携推進事業	京都産業	地場産農産物推進事業	<p>【事業の目的】 地産地消を推進することで、農薬・化学肥料を低減して作った地場産農産物（福知山産農産物）の生産拡大と環境に配慮した農産物の需要拡大を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・本市学校給食のためにエコファーマー認定品目野菜を生産納入する生産者に対して、学校給食センターの野菜買取金額に応じて「学校給食野菜導入支援事業補助金」を交付 ・学校給食提供者に対して、通常学校給食の米飯に府内産ブレンド米を使用するところを、福知山産コシヒカリを使用するために、府内産ブレンド米との差額分を「地場産米学校給食活用支援事業負担金」として支出 ・福知山地方卸売市場に出荷する生産者に対して、販売価格が定めた保証基準額を下回った場合に、差額の一部を「福知山市地場野菜価格安定対策事業補助金」として交付</p>	11,961	5,961	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食米飯における市内産コシヒカリ使用率 100% 学校給食材料としての地場野菜導入品目 28品目 学校給食材料としての地場野菜納入率 27% 	地場産農産物の生産と需要の拡大を図るため、地産地消を推進する目的で、主として学校給食への地場産農産物の導入を支援し、食育と需要拡大の両面から地場産農産物振興に寄与している。地場野菜価格安定対策補助事業など、卸売市場への地元農業者の出荷促進施策と一体で支援することで卸売市場を中心に学校給食や青果店等の市内小売業者への地場野菜の流通を活性化することができた。
27	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	安心・安全まちづくり推進事業（市民課）	<p>【事業の目的】 平成29年2月21日に締結した「福知山市安心・安全まちづくり協定」に基づき、誰もが安心・安全そして住みやすさを実感できるまちづくりの実現に向けた市全体の取り組みとして、市内の公共空間へ「見守りカメラ（防犯カメラ）」を設置する。</p> <p>【事業の内容】 市内の公共空間で交通及び防犯上必要として警察が選定した箇所のうち、市と警察で協議し、最も優先度が高い1箇所に防犯カメラを設置する。</p>	1,070	533	<ul style="list-style-type: none"> 設置台数 1台 	令和6年度においては、6月に公共空間防犯カメラ設置工事契約を締結し、2月末までを工事期間として、新規に1台の防犯カメラを設置することができた。防犯カメラの設置箇所に自然と視界に入る「防犯カメラ作動中」の表示を行い、犯罪抑止や市民の犯罪に対する不安軽減を図った。
28	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	高血圧制圧のまちプロジェクト事業	<p>【事業の目的】 医療データの分析により、高血圧症の患者が京都府平均より多く、中丹管内の近隣市と比べても多い傾向にあることから、市民の健康寿命を延伸するために、脳血管疾患や心疾患、腎臓病や認知症等多くの疾病リスクを高める高血圧症予防に関する取り組みを早い段階から実施し、市民が主体的に取り組む健康づくりを推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・市立福知山市民病院と連携した高血圧なるほど講座（予防プログラム）の開催と事後フォロー。 ・高血圧予防に関する情報発信・啓発 ・オリジナルアプリ「福知山KENPOS」の活用</p>	147	72	<ul style="list-style-type: none"> 福知山KENPOS血圧記録機能利用者 1069人 高血圧予防プログラム（講座）累計開催地区 9地区 	令和3年度から実施してきた「高血圧なるほど講座」は、市民病院との連携のもと、高血圧患者数が多い地域から順に実施し、4年間で延べ467人が参加、令和6年度で全市展開を完了することができた。小学生や若い世代を対象とした講座、給食センターと連携した保護者への啓発により、早い時期からの生活習慣確立へのきっかけづくりができた。

29	地域づくり連携推進事業	環境先進地	ゼロカーボンシティ推進事業	<p>【事業の目的】 福知山市エネルギー・環境基本計画に基づき、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現をめざし、使用電力の100%再生可能エネルギー由来への切り替えやエネルギー地産地消の推進、エネルギーの域内循環など地域脱炭素を進め、地域課題解決や地域産業の活性化につながる環境・経済・社会の好循環を図る。</p> <p>【事業の内容】 福知山環境会議主導により、環境保全活動や脱炭素に関連する活動を企画し、市民協働により環境活動を実行する。</p>	588	292	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト活動参加人数 825人 プロジェクト活動実施回数 21回 	プロジェクトの実施回数は前年度より減少したが、前年度の連続環境講座に講師として参加いただいた団体との連携や他市町との連携により、例年にはない活動を実施することができ、活動の幅が広がった。
30	地域づくり連携推進事業	京都産業	やくの高原活性化事業	<p>【事業の目的】 令和3年度から多くの施設が休館となっている「ファームガーデンやくの」を中心とした夜久野高原全体の再構築に向けて、地域住民等をメンバーとした検討会を立ち上げ、施設周辺地域の現況及び課題抽出等の調査結果を踏まえながら、地域の賑わいづくりや集客につながる活用方針を取りまとめる。</p> <p>【事業の内容】 ・やくの高原エリアの現況調査及び課題抽出、民間事業者の活用ニーズ把握等の調査 ・地域住民を中心とした検討会を立ち上げ、今後の施設の活用方針について検討 ・令和7年初旬(予定)に住民説明会を開催し、活用方針案について意見聴取を行う</p>	7,694	90	<ul style="list-style-type: none"> 活用事業者の決定進捗状況20% 検討会等の検討回数 5回 	令和6年9月に「やくの高原活性化検討会」を立ち上げ、夜久野高原の地域資源を活用した再構築に向けた活用方針をとりまとめることができた。今後、施設の再開に向け、地域住民が地域の賑わいづくりに主体的に関わり、市と民間事業者、地域住民が一体となって地域活性化に向け取り組んでいく。
31	地域づくり連携推進事業	京都産業	観光アクションプラン策定事業	<p>【事業の目的】 インバウンドを中心とした観光客が全国で急速に増加している。本市においても市内の観光団体等と連携して、インバウンド、滞在型観光(宿泊客、日帰り客)等のターゲットや各団体の役割を明確化した「観光アクションプラン」を策定し、より戦略的な観光施策の展開によって、観光誘客、消費促進等を推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・観光団体等が参画する会議の運営 ・観光に関する最新情報や動向についての研修 ・観光に関する先進地や成功事例についての現地視察 ・福知山市の観光の現状を分析</p>	761	377	<ul style="list-style-type: none"> 観光アクションプラン策定数 1件 観光誘客促進会議開催数 8回 	観光誘客促進会議を全8回開催し、官民連携して観光アクションプランを策定することができた。作成した観光アクションプランの進捗の確認及び評価を継続し、社会情勢の変化に応じながら、適宜柔軟に修正、変更の対応を行っていく。
32	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	オリジナルチャレンジデー実施事業	<p>【事業の目的】 スポーツやアクティブシティの取り組みを市民に周知し、アフターコロナにおけるスポーツや健康づくりの啓発及び機運を醸成する。</p> <p>【事業の内容】 ・福知山市版チャレンジデー(オリジナルチャレンジデー inFukuchiyama)の実施 ・市民がスポーツに親しむ講演会等イベントの実施</p>	731	113	官民協働によるアクティブシティ推進事業参加者数(延) 1,907人	アクティブフェスタ等イベントを実施することにより、スポーツの習慣化や住民の健康増進、スポーツ実施率の向上、地域の活性化を図ることができた。

33	地域づくり連携推進事業	生涯現役・共生	手話言語・情報コミュニケーション推進事業	<p>【事業の目的】 障害のある人が障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築することにより、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解し、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことができる共生社会を実現することを目的とする。</p> <p>【事業の内容】 ・施策推進会議の開催 ・障害についての理解啓発人材バンクによる講師派遣 ・あいさぽーター研修の実施（市民、企業・団体等、市職員） ・親子点字体験会の開催 ・行政情報の音訳</p>	1,012	503	<ul style="list-style-type: none"> あいさぽーター研修の実施回数 13回 あいさぽート運動の広報・展示回数 9回 	あいさぽーター研修の受講回数の増加を図るため、他課が関連する組織や市内事業所等の集まりの場に出向いたり、条例の施策推進で関係する事業所と接する際など、機会あるごとにあいさぽート運動の周知に努めた。その結果、研修受講につなげることができた。
34	地域づくり連携推進事業	京都産業	学校給食センタージビエ活用事業	<p>【事業の目的】 福知山市学校給食センターでは地産地消を推進し、児童生徒及び教職員に地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらうことを目的とし、シカやイノシシなどのジビエを使用した献立を学校給食に提供する。食材はジビエの認証施設で処理加工された安心・安全な地元産を使用し、食材費の一部を負担する。</p> <p>【事業の内容】 ・年2回を目標に学校給食にジビエを提供する ・その内、1回はドッコイセ大使である杉本シェフ考案のジビエを使ったメニューを提供する ・通常使用している食材とジビエ食材との差額分を本市学校給食で使用する食材の調達や献立を担う福知山市学校給食会へ支出する</p>	1,190	592	ジビエを使用した給食の提供 3回	地産地消を推進し、学校給食を通して児童生徒に地元の産物や多様な食文化への理解を深めてもらうため、ジビエ食材を使用した献立を学校給食に提供することができた。
35	地域づくり連携推進事業	京都産業	スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）	<p>【事業の目的】 効率的な獣害対策に取り組むため、ICT機器の普及を図るとともに、獣害対策に関する出前講座の実施により地域主体の獣害対策を推進し、農作物被害の軽減を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・ICT機器のランニングコスト低減に向けたシステム開発及び実証実験 ・地域主体の獣害対策を普及させるための出前講座の実施</p>	3,092	1,540	獣害対策出前講座の実施 10回	ICT機器のシステム開発・実証試験を実施することにより、カメラでの遠隔監視、遠隔操作の有効性を確認できた。また、獣害対策出前講座では、地域における獣害の状況や課題、対策方法の提案を行うことにより、地域住民の理解が深まり、一方的な話にとどまらずかつ達な意見交換がなされ、獣害対策への意識向上につながった。
36	市町村間連携推進事業	交流と連携	夜久野高原管理事業	<p>【事業の目的】 本市と兵庫県朝来市との府県境にある宝山公園は、森林浴やバードウォッチング、夜久野高原八十八か所石仏を巡るハイキング等を楽しめる観光スポットである。両市にまたがる夜久野高原を中心とした観光客等の利便性と環境衛生の確保を図り、地域の活性化と振興を促進するため設置された公園内の施設管理を行う。</p> <p>【事業の内容】 「夜久野高原さわやかトイレ」の事業費の一部負担</p>	502	224	<ul style="list-style-type: none"> 宝山公園清掃回数 310回 苦情件数 0件 	京都府唯一の火山である宝山公園内の施設管理を適切に行うことで、観光地としてのイメージアップにつなげることができた。

37	市町村間連携推進事業	交流と連携	四都市スポーツ大会事業	<p>【事業の目的】 広く市民の間にスポーツを普及し、市民スポーツの普及・高揚と競技力の向上を図り、スポーツを通じて両丹地域相互の交流と親睦を深める。</p> <p>【事業の内容】 ・北部四市（福知山市、綾部市、舞鶴市、宮津市）のスポーツ協会所属の団体・競技者による競技会の実施 ・競技会は、年次で実施し、冬季大会（スキー種目）、春季大会（陸上競技等）の各競技の結果により、四市の総合順位を決定する ・第70回大会から大会名称を「四都市スポーツ大会」に変更し、令和6年度は第72回大会となる</p>	758	338	<ul style="list-style-type: none"> 四都市スポーツ大会参加者数 562人 実施競技数 17競技 	四市のスポーツを通じた交流として、各市に定着し、歴史、実績を積み重ねており、京都府北部地域で行う数少ない社会人の大会として認知されており、多くの市民がスポーツに参加できる機会を創出することができている。
38	市町村間連携推進事業	地域・産業創造	ふるさと就職おうえん事業	<p>【事業の目的】 高校生をはじめとする若者の地元企業への理解と関心を高め、地元への定着と地元企業の人材確保につなげるとともに、福知山地域の事業所と求職者との出会いの場を創出することで雇用の安定を図り、持続可能な地域雇用を実現をめざす。</p> <p>【事業の内容】 ・合同企業説明会を開催し、求職者と企業のマッチング機会を提供 ・高校生向けの合同企業研究会の開催 ・地元企業と高校教員の就職懇談会</p>	2,560	1,143	<ul style="list-style-type: none"> 就職内定者数 43人 就職説明会参加者数 778人 	求職者に対して合同企業説明会イベントの周知のほか、就職活動支援として就職セミナーやパソコン講座等を行い、企業とのマッチング機会を提供することができた。
39	市町村間連携推進事業	交流と連携	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	<p>【事業の目的】 農作物被害を軽減させるために捕獲された有害鳥獣を適正に処分するために中丹3市（福知山市、舞鶴市、綾部市）と京都府で協力して整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し、計画的な捕獲を推進する。</p> <p>【事業の内容】 中丹3市において、「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行う。</p>	65,345	14,806	<ul style="list-style-type: none"> 年間処理頭数 9725頭 	施設を安定して稼働させることで、有害鳥獣捕獲・処理の推進に寄与した。
40	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	施設マネジメント事業	<p>【事業の目的】 公共施設の更新問題を踏まえ、現在の暮らしを守りつつ、子どもや孫など未来の世代に大きな負担を背負わせず、安心して暮らし、働き、学び続けることができるまち、ふるさとでいつまでも幸せを実感できる持続可能な都市を目指す。そのため、市の保有する全ての公共施設について、全体として福知山市の身の丈に合った将来にわたってバランスのとれたものとなるよう「公共施設マネジメント」を推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・市民ニーズと将来負担を踏まえた最適な公共施設を実現するため、公共施設の複合化や削減等を利便性の確保に努めながら推進する。 ・福知山市公共施設マネジメント個別施設計画に基づく、公共施設の長寿命化や公共施設等包括管理業務により、維持管理の質の向上を図り、公共施設の安心・安全を確保する。 ・施設の利用頻度が低い施設、利用の偏りがあるなど有効に利用されていない施設、有効に活用されていない余剰空間をもつ施設などムダを削減する。 ・公民連携手法であるPPP/PFIや指定管理者制度などを導入することで効率的かつ効果的な公共施設の管理運営につなげるとともに、未利用公有財産の民間事業者による活用を推進する。</p>	7,832	3,328	公共施設削減面積（貸付含むR6年度実績） 11,819㎡	単年度で貸付含む削減実績では11,819㎡、累計で69,508㎡となった。第1期公共施設マネジメント基本計画（10年間）の目標101,800㎡に対する達成率は68.3%、30年間の目標208,000㎡に対する達成率は33.4%であり、着実に進捗している。 それ以外にも、外部評価では、第19回日本ファシリティマネジメント大賞において優秀ファシリティマネジメント賞を受賞、行革甲子園2024においてグランプリを受賞するなど一定の成果を出すことができた。

41	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	公民連携事業	<p>【事業の目的】 少子高齢化や人口減少に伴い、未利用となった既存公共施設の維持管理費や解体費用が大きな課題となっている。公共施設の整備・運営に民間の資金とノウハウを活用して公共施設の設備や運営を行い、本市の財政状況や行政サービスに対する市民のニーズの多様化に対応する。</p> <p>【事業の内容】 民間事業者のニーズや動向を把握するため、「公民連携促進に関する連携協定」を締結している株式会社京都銀行及び京都北都信用金庫と連携し、未利用公有財産の民間活用を進める取組を行う。</p>	5,874	2,496	<ul style="list-style-type: none"> ・活用実現した施設の敷地面積（累計） 119,772㎡ ・サウンディング等イベント参加事業者数 86者 	<p>令和6年度は、「公有財産活用フェア&現地見学ツアー」及び「未利用公有財産活用ビジネスプランコンテスト」を実施し、旧中夜久野保育園の活用が決定した。現在、活用事業開始に向け準備を進めている。</p> <p>また、金融機関と連携して実施してきた「廃校Re活用プロジェクト」が行革甲子園でグランプリを受賞するなど、本市の取組について外部評価を得ることができた。</p>
42	行政サービスの質向上・小規模市町村支援事業	その他	小・中学校施設長寿命化計画策定事業	<p>【事業の目的】 個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定し計画的に施設の長寿命化を図ることにより、コストを総合的に抑制していくなかで、今後の学校施設機能を維持しながらこれまで以上に長く使い続けることで財政負担の軽減と平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能及び性能の確保を目的とする。</p> <p>【事業の内容】 小・中学校施設の長寿命化計画の中間見直しを行う</p>	13,750	5,843	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化診断調査を実施した学校数（小学校） 14校 ・劣化診断調査を実施した学校数（中学校） 9校 	<p>各学校施設の劣化度調査を実施したことにより、施設の現状や劣化の進行状況を客観的に把握することができた。</p> <p>令和2年3月に策定した当初の計画における取組状況をふまえたうえで、中間見直し（後期計画）として学校施設全体の中長期的な施設整備の方針を改めて整理し、計画を策定することができた。</p>